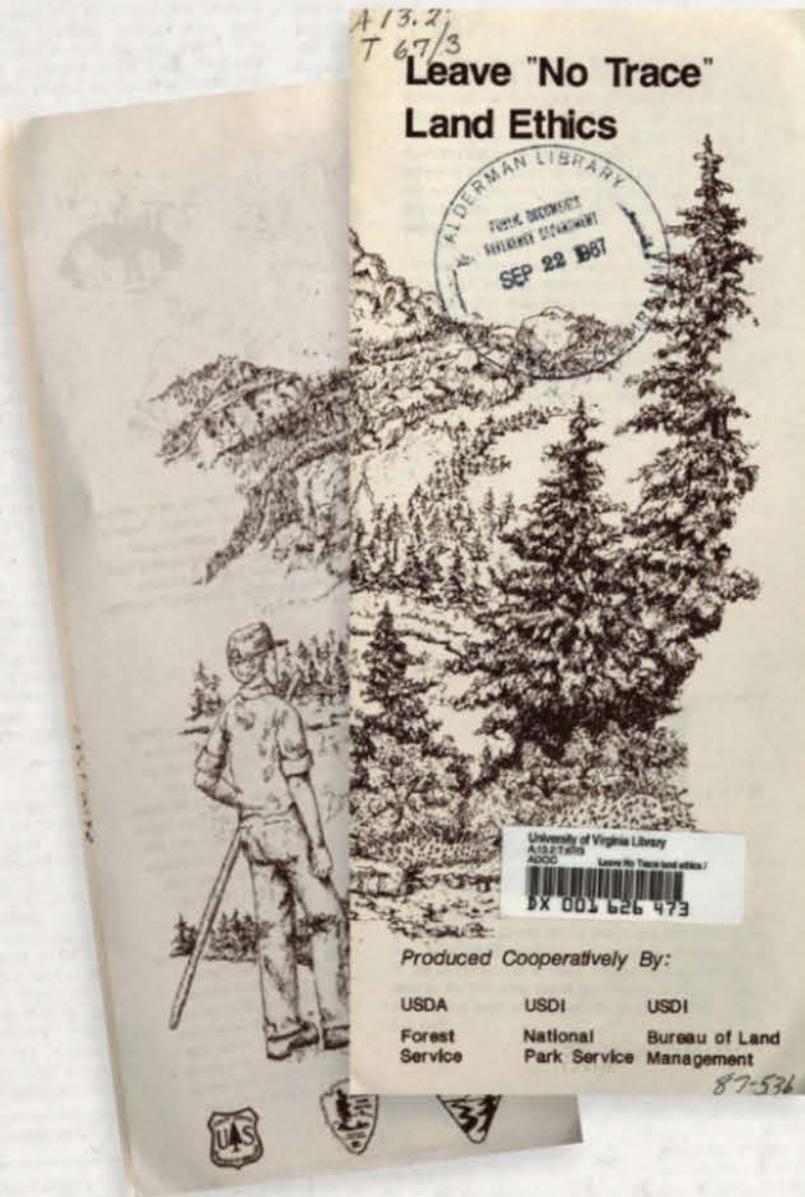




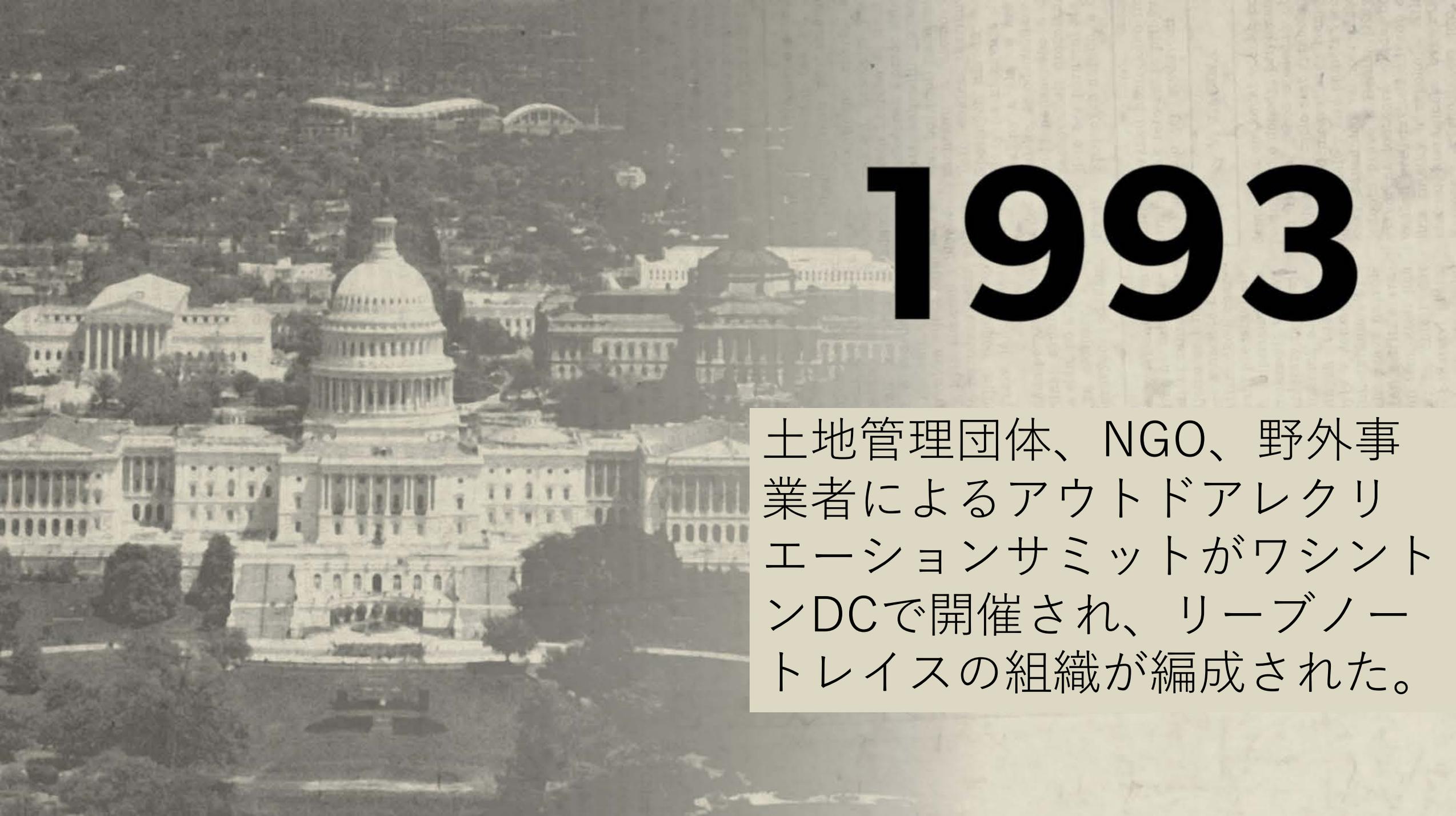
# LEAVE NO TRACE

## 25年の轍



# 1970s- 1980s

「ノートレイス」プログラムが、ウィルダネス、バックカントリー、キャンプに導入される。連邦森林局、国立公園局、土地管理局が連携し、「リーブノートレイス土地倫理」を配布した。

An aerial photograph of the United States Capitol building in Washington, D.C. The building's iconic white dome is the central focus, surrounded by other neoclassical structures. The surrounding area is lush with green trees, and a bridge is visible in the distance. The image has a slightly faded, historical quality.

# 1993

土地管理団体、NGO、野外事業者によるアウトドアレクリエーションサミットがワシントンDCで開催され、リーブノートレイスの組織が編成された。

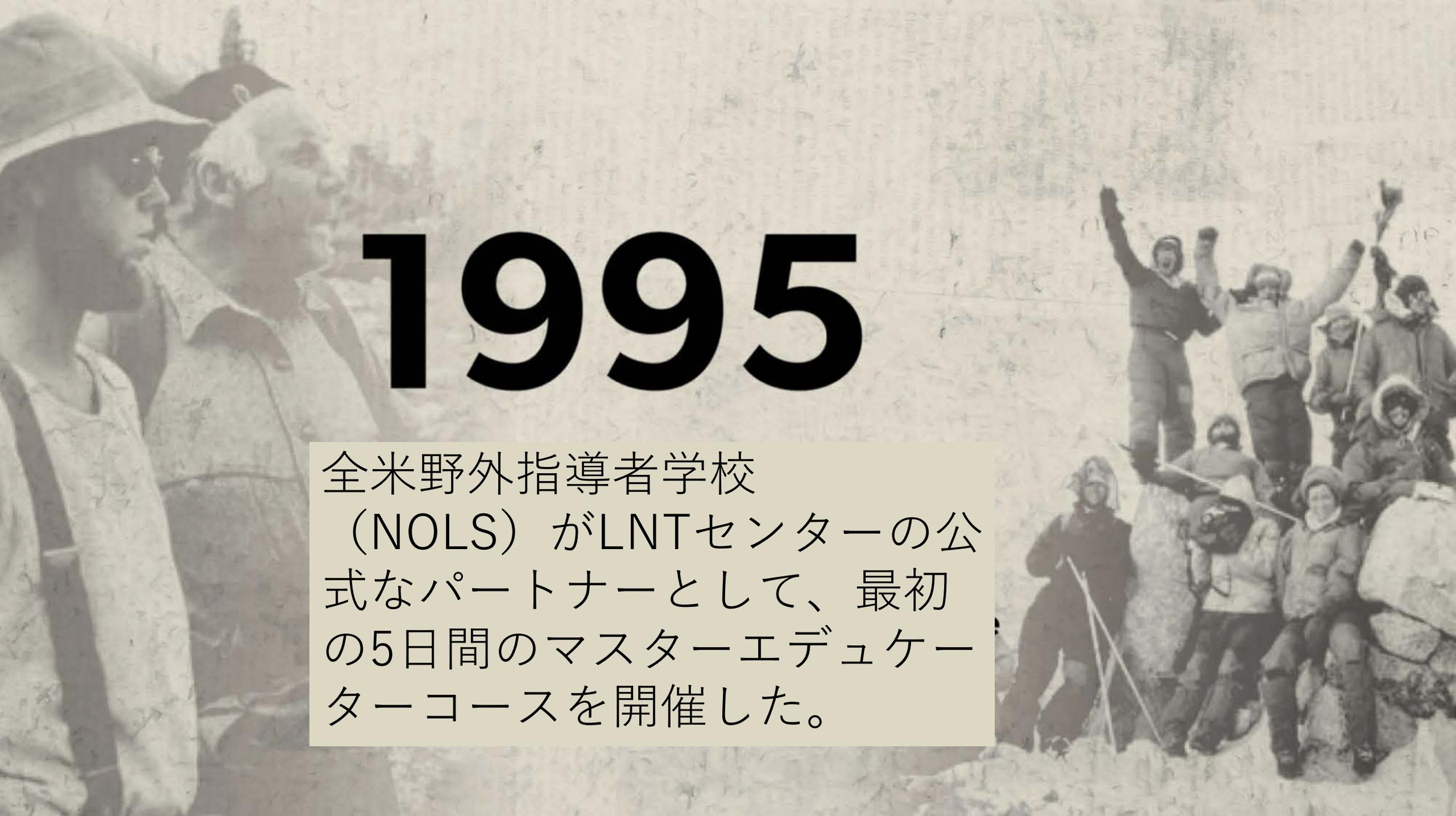


# 1994



リーブノートレイス野外倫理センターが独立する。連邦国立公園局、森林局、土地管理局、魚類野生動物局がリーブノートレイスの正式パートナーとして調印した。ダナ・ワッツが初代代表理事として就任した。





# 1995

全米野外指導者学校

(NOLS) がLNTセンターの公式なパートナーとして、最初の5日間のマスターエデュケーターコースを開催した。

# 1999

国立公園には年間287百万人、国立森林公園には900百万人の来園者があるなど、国有地におけるアウトドアレクリエーション人口が激増した。

LNTのパートナーであるスバルが、最初のLNTトラベルトレーナーチームを派遣した。



# 2000

LNTセンターは、連邦の教育助成金を受け、全米各地に教材を配布し、ボランティア支援者を増やしていった。

<u>Outdoor</u>	<u>Ethics</u>
Nature	Values
Environment	morals
Wilderness	Beliefs
Outside	Attitudes
Background	Responsibility

# 2002

PEAK(Promoting Environmental Awareness in Kids) プログラムが学校教育に導入された。



# 2003

アウトドアユーザーの80%以上がフロントカントリーで活動していることが明らかとなり、フロントカントリーでのLNTの必要性が高まった。

LNTセンターはオーストラリアにて最初の国際ブランチ設立の支援を行った。

# 2005

40州がLNTボランティア支援者の州団体を組織した。

LNTセンターはスコットランドにて、欧州連合プログラムとして、最初の国際コースを開催した。





# 2006

10代の青年向けの  
PEAKプログラムを発表  
した。

# 2007

子ども向け、青年向け  
PEAKプログラムがス  
ペイン語に翻訳された。  
3つのスバルトラベル  
トレーナーチームが、  
全米各地に派遣され  
た。





# 2008

州立公園管理協会が連邦土地管理機関に加盟しLNTを採択した。

LNTセンターは、さまざまなコミュニティに対する支援プログラムを開始した。ネイティブアメリカンに対する最初のマスターエデュケーターコースを開催した。

# 2009



ツイッターのフォロアーが6ヶ月で30倍に増加した。

LNTセンターはオンライントレーニングコースを導入し、LNTの教育がより多くの人に行きわたる





# 2010

ケンタッキー州レッドリバーゴージが、LNTの最初のホットスポットに選ばれた。

環境への責任ある行動を行うビックフットチャレンジに、15,000人が参加した。LNTはSNSを通じて毎日35,000人に届いた。

# 2011

各地で裏庭プログラム  
が開催された。  
LNTの助成コースが、  
87,000人の子どもに提  
供された。



# 2012

滞在型のアウトドアレクリエーション人口が1億4千万人に増加した。

70万人がホットスポットプログラムに参加した。

31万人がLNTトレーナーコースに参加した。





# 2013

LNTセンターは、全米の「真実キャンペーン」に参加し、1千万人に対して、野外での禁煙キャンペーンを行なった。2つの研究がLNTのキャンペーンの効果を明いかにした。



THIS IS  
LITTER T

# 2014

グランドキャニオン国立公園とマウンテンバイクのガイドラインを共同開発した。

野外での子どもと青年プログラムに、全米で118,000人が参加した。

サンフランシスコ市と、都市におけるLNTプログラムを共同開発した。





# 2015

LNTセンターは2つの目標を掲げた。

- ・LNTを全ての公園に：公園を訪れた全ての人々が、その環境を守る意識と技術を身につけるため
- ・LNTを全ての子どもたちに：彼らが環境を理解し、未来の環境に責任ある市民を育てるため



# 2016

5つのスバルトラベルチームが、全米で601イベントを行い、1千5百万人が参加した。

ペンシルベニア州立大学と小学5年生338名を対象とした共同研究で、LNTの教育効果が実証された。

「市民サイエンス」が、環境モニタリングのツールとして開始された。



# 2017

ホットスポットプログラムで、19の地域で、永続的な解決策を提供した。

LNTワークショップを235,000人の青年に提供した。





# 2018

デナリ、グランドティ  
トン、ヨセミテの3つ  
の国立公園で、ゼロ埋  
め立て調査の2年目が  
開始された。

国立公園には、318百  
万人が来園した。



あなたのアク  
ションがLNT  
の次の未来を  
作ります